

令和2年度第1回白根飯野小学校学校関係者評価書

学校関係者評価委員会

- 1 日時 令和2年9月11日（金）午後7時00分
- 2 場所 白根飯野小学校 図書室
- 3 出席者 ○学校関係者評価委員
飯野 久（学校評議員・南アルプス市議会議員）
飯田哲夫（元校長・学校評議員）
杉町智元（学校評議員・PTA 会長）
中嶋義幸（飯丘地区自治会長）
伊東政仁（飯野地区自治会長）
○学校代表
岡こずえ（校長） 窪田正幸（教頭） 深澤和博（教務主任）
- 4 欠席者 市川和郎（元校長・学校評議員）
- 5 内容及び次第 進行：深澤教務主任

I 次第

- 1 始めの言葉
 - 2 学校長挨拶
 - 3 自己紹介
 - 4 議事（座長：学校長）
 - ① 1学期末の学校評価（教職員・保護者・児童）の集計結果の報告
 - ・自己評価・保護者アンケートについて 提案者：教頭
 - ・児童アンケートについて 提案者：教務主任
 - ②意見交換
 - 5 終わりの言葉
-

Ⅱ 学校関係者評価委員会報告概要

本校の学校評価は、学校教育目標の実現（学校経営方針の実現に向けた本年度の努力点）のための取組状況を、教職員による自己評価に加え、保護者・児童によるアンケート調査結果を活用する中で、それぞれの立場を踏まえるとともに、これらに関わる設問に寄せられた意見や、日常的に行っている児童観察も加味して分析し考えている。

なお、今回の調査は1学期の取組が根拠となる。しかしながら、長期にわたる臨時休業により様々な活動が削減されてきたことを考慮し、保護者アンケートの『9 学校は、授業参観・行事等学校開放に努め、保護者と連携し、その意見に耳を傾けている。』『14 P T A活動に進んで参加している』『15 お子さんを地域の行事に参加させている』については、質問項目から除外した。

【1】評価基準

全体傾向を把握するため、A B評価を肯定的評価とし、それらの合計が、80%を超えている場合は『満足できる状況』と判断した。また、C D評価を否定的評価とし、それらの合計が20%を超えている場合は『改善の余地がある状況』と判断した。

(A: そう思う B: だいたい思う C: あまり思わない D: そう思わない E: わからない)

【2】全体的な傾向

教職員による自己評価、児童・保護者によるアンケートを通じて、3者ともに、ほとんどの項目でA B評価の合計が80%を超え、各アンケートの全体平均においても教職員（平均85%）、児童（平均82%）、保護者（平均95%）と肯定的な評価がされていた。

一方、C D評価の合計が20%を超えたものは、教職員は

- ・児童が、友達の考えや感想に耳を傾け、多様な考えを大切にした対話的な深い学びを創造することができたか。(29%)
- ・ペア学習、グループ学習を有効的に取り入れ、伝え・聞くなど言語活動を充実させることができたか。(69%)
- ・子どもの日常生活や好奇心に関わり、興味関心をかき立て、学校から家庭に発展する学習の工夫に努めることができたか。(教材の工夫と家庭学習の充実) (32%)
- ・上学年の子どもの活動から、下学年の子どもが自ずと学べるたてわり活動

の確立に向け、適切な指導助言ができたか。(24%)

- ・さわやかで好感を与える所作や言動を身に着け、誰にでも挨拶できる習慣を育むことができたか。(小笠原流礼法を含む) (33%)

の5項目であった。

保護者については、20%を超える否定的評価はゼロであった。

児童については、

- ・学校生活で困っていることがある。(21%)

の1項目であった。

学校生活全般についての調査項目(以下の①②)では、ともにAB評価の合計が90%を超え、非常に高い数値である。これらのことから、現在の本校は、概ね『満足できる状況』にあると判断できる。

- ①児童：学校は楽しいですか。(94%)

学校で一緒に遊んだり、おしゃべりをしたりする友達はいますか。
(96%)

- ②保護者：子どもは、白根飯野小学校に楽しく通学している。(97%)

【3】個別の分析

(1) 「確かな学力」に関して

教職員が肯定評価したものは、5項目中2項目であった。学年やブロックを中心にした授業づくりに向けての情報交換を通して、生き生きとした学習を創造しようと鋭意努力している成果とみられる。保護者評価の『3子どもは、学校の授業に進んで参加し、がんばっている。(98%)』と児童評価『8授業はよくわかる。(90%)』の双方の評価も90%以上と高くなっており、その成果が確かめられている。

一方で、5項目中3項目において肯定的評価が80%を下回っている。日々の授業における課題としては、『②多様な考えを大切にした対話的な深い学習の創造(72%)』、『③ペア学習、グループ学習等の学習形態の有効的な活用の工夫(31%)』の2項目が挙げられる。今年度は、新型コロナウイルス感染症による臨時休業のため、1学期の授業日数が大幅に減少し、それに伴う学習の遅れをどう取り戻すかが、授業を進めていくうえでの大きな課題となった。また、感染症防止のための児童同士のソーシャルディスタンスの確保や、お互いが向かい合った状態でのペア学習やグループ学習を通じた対話的な学習活動の制限もあり、教師主導型の授業が多くなってしまったことは否めない。児童アンケ

ートにおいても、『2 授業中、友達の話をよく聞いて、自分の考えを伝えている。(80%)』と、他の項目と比較して肯定的評価が若干低くなっている。2学期以降も、感染拡大状況や感染レベルに応じて学習活動が制限される可能性もあるが、マスク着用の徹底等感染症対策を万全に行った上で、短時間のペア学習やグループ学習等の対話的学びを検討していくのと同時に、「書くことを通じた考えの交流」にも力を入れ、「確かな学力の育成」に向けた授業づくりに取り組んでいきたいと考える。

また、『④興味関心の喚起や、学校から家庭に発展する学習の工夫(68%)』に関連して、保護者評価『4子どもは家庭でも宿題や自主学習・読書など学習する習慣が身についている(84%)』が、他の項目に比べて若干肯定率が低くなっている。家庭学習は「学校で分かったこと」を「知識」として定着させていくために必要な作業であることを児童自身にも自覚させていくことが必要である。内容も、低学年のドリル的な方法から高学年では調べ学習や発展学習につなげていくなど、工夫が必要となる。また、児童アンケートでの「自分の携帯ゲーム機や音楽プレーヤーの所持率(70%)」、「自分の携帯電話・スマートフォンの所持率(42%)」「家庭内での携帯電話・スマートフォン使用に関するルール設定(70%)」からも、家での学習以外の時間の使い方が適正化であるか振り返らせていく必要もあると考える。

保護者コメント

○いつもきめ細かく指導してくださり、また個性を認めてくださり感謝しています。

△勉強宿題も大切ですが、毎日なくてもよいかと思います。月に1, 2回は無い日があってもいいように思います。

△宿題が少ない。

●対策：宿題は、授業で学んだことの確認や定着を主としつつ、日々の家庭学習の習慣化も目的としているところもあるので、日々継続して取り組ませていきたいと考えている。一方で宿題量については、各クラスその日の学習内容や子ども達の実態によって変わってくると考えられるので、学校で一律に量を定めることは難しいことを御理解いただきつつ、各々のレベルに合わせた自主学習にも力を入れて取り組ませていきたい。

△3か月の休校は、なかなかできない経験でしたが、何しようかなとかいろいろ予定をたて、ゲームをせずに工夫して一緒に過ごせました。今後、もしもの為にオンライン授業をしてください。

△オンライン授業ができる環境を整えてください。

△次に休校になるときはオンラインでの授業が南アルプス市でもできるとよいです。

- 対策：予期せぬ臨時休業により、保護者の皆様には大変な御心配と御苦勞をおかけした。休業中の学習については、オンライン授業を行っている学校も県内には見られたが、南アルプス市ではその環境が整っておらず、補習プリント等で対応させていただいた。南アルプス市としても、現在、オンライン授業ができるような環境づくりを進めている。

(2) 「豊かな心」について

教職員が肯定評価したものは、7項目中5項目ある。中でも、『①すべての児童に居場所のある学級・学年・学校づくり』『②いじめや不登校への取組』については、肯定的評価が100%となった。また、『③相手の立場に立って考える子どもの育成(88%)』『⑤読書習慣の定着(81%)』『⑥強く生きる心を育むこと(84%)』についても、肯定的評価が80%を超えている。本校では、被害児童の心情を尊重し、被害児童が「いじめられた」と感じている事案については些細なことでもいじめとして認知し、対応している。例えば、からかいや冷やかし等相手を傷つける行為に対しても、子どもたちの様子を観察し、きめ細かく指導してきている。そのような教職員の意識の高まりが数値となって表れたものとみられる。また、関連する保護者評価においても『5 子どもは、学校・学年・学級で理解され、心の居場所を持っている。(95%)』『6 子どもは、人の心を思いやり、豊かな心を育てている。(95%)』『11 家庭では、子どもに善悪のけじめを教え、しつけに力を入れている。(97%)』『13 子どもとの触れ合いの時間を持つようにしている。(96%)』と高評価になっている。各家庭での子ども達への指導や支援、声掛けなどが子ども達の豊かな心の育成に大きな力を発揮していると感じている。合わせて関連する児童評価として、『1 学校は楽しいですか。(94%)』『3 学校に仲よしの友達はいますか。(96%)』とこちらも9割の児童が肯定評価しており、取組が成果となって表れている。

反対に課題とみられる項目は、『④たてわり活動への適切な指導・助言(76%)』『⑤小笠原流礼法を含んだ所作や言動、挨拶ができる習慣の形成(67%)』となっている。たてわり班活動については、臨時休業の影響で1度のみの実施、ま

た小笠原流礼法は1度も実施できなかつたことが、高評価をつけづらい要因となつたことが考えられるため、本校の課題として扱うにはいささか抵抗があるが、2学期以降の教職員の意識化を高めていく礎としたい。また、児童評価『9 学校生活で困っていることはありますか。(22%)』と2割の児童が「ある」と答えていることから、さらに児童観察や相談体制を充実させていきたい。

保護者コメント

○躰には力を入れていますが、勧善懲悪なものの考え方ではなく、悪いことをしてしまった人、世の中で起こっている悲惨な事に対してどうしてそういうことが起こるのか、その背景にも思いを巡らせいろいろな立場で考えるように言い聞かせています。ぜひ学校でもそのようにご指導いただければと思います。

○友だち間とのトラブルなども、自分自身で考えてなんとかしようと今、成長して考えている最中です。先生方に迷惑をかけることが多いと思いますが、よろしくお願いします。

(3) 「健やかな体」について

教職員評価では、2項目全てが肯定的評価であった。『運動が苦手な児童への達成感を味わわせる指導や運動習慣の形成(90%)』『健康についての理解と生活習慣の形成(96%)』といずれも高評価となっている。臨時休業明けの子どもへの体力低下が懸念されたが、指導法や目標設定を工夫しながら体育学習を進めてきたこと、休み時間には、教職員が校庭で子どもたちと一緒に遊ぶ様子も見られること、また感染症対策も含めた健康的な生活の習慣化を進めてきたことなどが要因として挙げられると考える。

また、保護者アンケートにおいては、『学校は、教育活動に適した施設設備を整えている。(94%)』『10 子どもは、安全を意識し登下校している。(92%)』『12 家庭では、早寝、早起き、朝ご飯に取り組んでいる。(94%)』と、子どもの健康・安全の確保について肯定的に評価をしている。一方で、下のような御意見もいただいていることから、2学期以降もさらに子どもたちへの指導を重ねていきたいと考えている。

保護者コメント

○登校時、教頭先生が毎日危険な場所に立ってくれ、子どもたちに声をかけていること、とてもありがたく思います。

△朝8時まで教室に入れないで待っている密の状態を改善してください。

- 対策：特に西側玄関前はスペースが狭いため、開錠を待つ児童が密になってしまう傾向がある。ソーシャルディスタンスの確保に向けた児童指導とともに、物理的な対策も早急に検討していきたいと考える。

△登校班について。班長・副班長が名ばかりで務まらない6年生（特に男子）が多い気がします。下級生を気にしない、6年生に合わせられない下級生に文句を言う、班長・副班長横並びで登校する。以前、ご相談した際に「登校班は地区のことなので…」とおっしゃられた先生がいます。登校班は、学校あつての登校班です。学校側でも、しっかりご指導していただき、保護者にも伝えていただきたいです。ルールを守って安全に登校できなければ、安心して下級生は預けられません。登校班の意味はないです。登校班指導の強化をお願いしたいです。よろしくお願ひいたします。

- 対策：保護者アンケートの結果からも、ほとんどの登校班は班長を中心に安全に気を付けて登校できているが、一部の班について課題が見られていることも事実である。登下校の安全指導は学校側の責任であるので、班長指導も含めて今後も指導を継続していきたい。一方、登校班編成については支部長を中心に各支部で決定していただいているので、その決定を尊重しつつ、改善が必要な状況が生じた場合には、学校と支部長で慎重に協議して決定していきたいと考えている。

△先日暑い日にマスクをつけて下校後、軽い熱中症のようなことがありました。暑い日はマスクをはずす指導をお願いします。家でも言っているのですが、学校では先生の指導しか受け入れないのでよろしくお願いします。

- 対策：文部科学省は、「体育学習中、2m以上のソーシャルディスタンスが確保できる場合、気温や湿度や暑さ指数が高い日はマスクを外し、熱中症対策を優先すること」としている。運動会の練習も控えていることから、状況に応じたマスク着用について、引き続き指導を行っていききたい。

△トイレを清潔にしていきたいです。汚い臭いという理由で学校のトイレを我慢しているようです。身体的影響を及ぼす為、対策をお願いします。

- 対策：南アルプス市教育委員会の取り計らいにより、昨年度は予定されていなかった2・3階トイレの排管を全て交換する工事を、昨年度末

の臨時休業中に行った。そのため、悪臭については大幅に改善されている。しかしながら、校舎の築年数が経っているため、設備の老朽化は否めない。改修には大規模な予算が必要となるため、すぐに改善はできないが、引き続き市教育委員会に働きかけをしていきたいと考えている

(4) 「グローバルに活躍する人材」について

すべての項目（3項目）において教職員が肯定評価している。『①自己や他者の良さの気づき，進んで社会と関わる意欲や態度を育成。(86%)』『②外国語を通じた表現や理解の喜び，異文化と共生しようとする態度。(80%)』『③自ら学び，協働する教育課程の工夫。(85%)』である。「キャリア教育」や日々の「外国語・外国語活動」の指導の充実に取り組んできた成果が表れているものと思われる。関連する保護者評価における『2 子どもは，仲間と協力し，行事や活動に粘り強く取り組んでいる。(97%)』，児童評価における『6 そうじ当番がしっかりできますか。(95%)』『7 学校の約束や決まりを守っていますか。(96%)』を見ても，学校生活の中で協力・責任・自律といった社会生活を送る上での基本的なことを意識していることが伺える。

今後も，人生100年時代を迎え，超スマート社会を生き抜いていく子ども達に必要な知識・技能，思考力・判断力・表現力等を身につけさせていくとともに，多様な考えに触れながら視野を広げさせ，自分自身を見つめながら個性を伸ばさせていけるような指導・支援を行っていきたい。

(5) 「特別支援教育の推進」について

教職員が肯定評価したものは，4項目中全ての項目であった。特に，『②校内支援体制の効果的な運用』『④個人差を尊重し，学び合う学級づくりと学習指導』については，肯定評価が100%となった。また，『①個別のニーズの把握と指導(95%)』『③保護者相談等を通じた連携指導(94%)』も高い結果となった。

支援が必要な児童はどのクラスにも存在するが，ケース会議を通してその特性を理解・共有し，複数での教員での指導ができるよう支援体制を見直しながら取り組んできた。また，校内支援委員会の中で児童の情報交換を行い，担任の指導方針を尊重しつつ，全校で同じ方向を向いて指導に当たれるように取り組んできたことが，肯定的評価につながったのだと思う。すぐに状況が改善されるわけではないが，今後も職員一丸となって指導・支援にあたっていきたいと考える。

保護者コメント

- ひまわり学級での個別指導のお陰で、前向きに学ぶことができています。
”何事にも諦めず努力する”先生方ご苦勞が多いただろうと申し訳なく思っていますが、子どもたちのためにありがとうございます。
- 本児の登校に向け、時間を作ってくださいありがとうございます。(中略)
一つ一つ壁を乗り越えられるのも先生方皆さんが温かく対応してくださるおかげだと思っております。
- SCについてですが、今年度に入り何度も予約させていただき、ありがとうございました。(中略) 今後もよろしく願います。

(6) 「保護者・地域との連携」について

教職員が肯定評価したものは、2項目中全ての項目であった。『①保護者、地域の力を活用し、共に支えあう地域の学校づくり(適切な情報発信等を通して)(96%)』『②PTA活動を通じた保護者との協力関係を構築(87%)』となっている。また、関連する保護者評価でも『7学校は、情報発信(連絡帳、おたより、ホームページ等)として、子どもの教育活動を伝えている。(96%)』と高評価になっている。

新学習指導要領の大きな柱の一つが「社会に開かれた教育課程の実現」である。学校教育に保護者や地域のお力をお貸しいただくのと同時に、学校の方針や子ども達の様子等も積極的に発信することで、双方向でのWIN-WINの関係をづくり、地域の宝である子どもたちを、地域の方々と共に育てていくスタンスを今後も持ち続けていきたい。

保護者コメント

- 先生と保護者でコミュニケーションがとれているので、安心して通わせています。
- ささいな事でも担任の先生は親身になり、聞いてくださいます。とても感謝しております。
- 友だちとのトラブルなどいろいろな相談、悩みもとても親身になり保護者の意見や子どもの意見も聞いてくださりとても信頼できます。問題が解決できるように動いてくれるのでありがたいです。親子ともども感謝の気持ちでいっぱいです。

○朝、学校の玄関の前で泣くのですが、1日過ごし、帰りは「今日は誰と遊んだ。」など楽しそうに話してくれます。最初の頃、先生が入り口まで迎えに来てくださったのですが、子供が泣いていて少し時間がかかっていました。その際、「長い。」と言われたのが心に引っかかっています。先生方もお忙しいのは重々わかっていますが、親も不安で、子どもも不安で、私にはとてもつらい時期でした。はっきり言って嫌な気持ちになりました。担任の先生はとてもいい先生だと思います。なので、これからもよろしくお願いします。

△学校行事がないので、1年生の授業の様子を見られなくて残念です。開放日などを設けていただけると有り難いです。

●対策：2学期以降に、授業の様子を見ていただける機会を設定しようと考えている。コロナ感染症対策を行い、児童や保護者の安全が確保できる方法での実施となる。方法の一つとして、期間を設けた学校開放日を設定し、参観保護者の分散ができればと考えている。

△本年度は、コロナの影響でPTA総会なども中止になりましたが、今後も書面で報告が可能なものなどは無くしていてもいいかなと思います。

●対策：PTA活動に関しては、今後、職員とPTA役員の方々に検討をしていく。

△学年や先生によって対応が違うことがあり、戸惑う。(下校や置き勉など)子供が少しでも楽しく通学できるような手助けがあるとありがたいです。

●対策：今年度、「よくわかる白根飯野小学校」として、基本的な部分での学校としての統一方針を作成し、保護者にも配布したところである。今後も見直しを図りながら、学校として統一できるところは検討していきたい。

△コロナで学校行事や保護者の学校参加がない分、ホームページでのお知らせを充実して欲しい。

●対策：全校に関わる行事や学校だより、行事予定表などはホームページに随時アップし、各学年の行事やお知らせは学年のお便り等でお知らせをしている。今後も、子ども達の様子やPTA行事等、できる限り速やかにお知らせしていきたい。

(7) その他の保護者コメント

- いつも子ども達を大切に預かっていただきありがとうございます。給食も提供していただき給食センターの方々にも感謝でいっぱいです。
- 担任の先生が忙しい中で子供のことを考え、常に寄り添っていただいているので非常にありがたく信頼しています。
- いつもありがとうございます。子供が楽しく学校、ももっこに行ってくれてとても感謝しております。これからもよろしく願います。
- 子どもたちの様子を見てると、先生方の温かい指導を感じられます。いつもありがとうございます。
- いつも子供たちを温かく見守っていただきありがとうございます。おかげさまで安心して学校に通わせていただいています。
- 今年度は、コロナの影響もあり、先生方のご苦勞をとてもお察しいたします。ありがとうございます。今後ともよろしく願い申し上げます。
- いつも先生方のご指導に心より感謝しております。ありがとうございます。これからもよろしく願いたいと思います。
- いつも子供達を安心して預けられます。ありがとうございます。
- あたたかいご指導ありがとうございます。これからもよろしく願いたいと思います。
- 最高学年なのでいつも以上に思い出作りが少ないかなあと思うので、何か子供達にとってとても思い出になる事があったらいいなあと思います。
- △給食中に音楽をながしてほしい、と子どもが言っていました。(今はコロナで無言なのであまり楽しくないから)
- △封筒を数回使うことに抵抗があります。いろんな家庭に回っているので、不衛生と感じます。

III 終わりに

様々な御意見、御感想をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。今後も保護者の皆様との連携を強固にしながら、子ども達の指導・支援に全力を尽くしてまいりたいと思います。また、要望等については、今後の検討課題とさせていただきたいと思います。

今後ともよろしく願いたいと思います。